

多文化共生の地域づくりコース

この研修は、地域における多文化共生の課題を分野別に学び、自治体やその関係団体が施策を展開する際に、多文化共生に配慮できるよう理解を深めます。

また、外国人住民と共に、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に地域で暮らしていく多文化共生の地域づくりに必要な人材の養成を目的に実施します。

研修のポイント

- 多文化共生に関する基礎知識を習得し、地域における課題を分野別に理解する。
- 外国人住民の持つ多様な文化や価値観を理解する。
- 各部局において、多文化共生の地域づくりを意識しながら職務を遂行できる能力を身に付ける。

※ 修了者の方を「JAM多文化共生地域づくりサポーター」に認定します。
 ※ 本研修は、(一財)自治体国際化協会(CLAIR)との共催で実施します。

開催要領

日 程

第1回 令和4年8月22日(月)～8月26日(金)(5日間)
第2回 令和5年1月30日(月)～2月3日(金)(5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 市区町村・都道府県の職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員で、多文化共生に関心のある方(国際・多文化共生担当課以外の方も受講できます。)
 - 市区町村議会議員
 - 多文化共生、福祉、教育等の分野で地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPOまたはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方
- 5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

各回30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,950円
 ((一財)自治体国際化協会からの助成対象外の方は17,450円)
 (一財)自治体国際化協会からの助成(研修費6,500円)後の額です。
 ※助成の内容については、裏面をご覧ください。
 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

第1回令和4年7月4日(月)まで
第2回令和4年12月5日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「**研修Web申込みフォーム**」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
 ※NPO、NGOの職員の方がお申しいたご場合は、受講推薦書が必要になります。
 受講推薦書はJIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

1日目(月)

- 11:00 ~ 入寮受付・昼食
- 12:30 ~ 開講・オリエンテーション
- 13:00 ~ 15:35 **講義** 多文化共生施策の現状と課題
- 15:50 ~ 17:00 **講義** 地域における多文化共生施策の更なる推進に向けて
- 17:05 ~ 17:45 **演習** 演習導入
- 18:00 ~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

2日目(火)

- 9:25 ~ 12:00 **講義** 学校の教育支援 ~地域と学校の連携~
- 13:00 ~ 14:10 **事例** 市町村における多文化共生施策
- 14:25 ~ 15:35 **事例** 在日外国人における高齢者の現状・課題
- 15:50 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議
- 17:00 ~ **課外学習**

3日目(水)

- 9:25 ~ 10:35 **事例** 災害時対応
- 10:50 ~ 12:00 **事例** 生活相談
- 13:00 ~ 14:10 **講義** 地域における日本語学習支援
- 14:25 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議
- 17:00 ~ **課外学習**

4日目(木)

- 9:25 ~ 12:00 **講義** 医療・母子保健
- 13:00 ~ 17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議・発表資料作成
- 17:00 ~ **課外学習**

5日目(金)

- 9:25 ~ 14:10 **演習** 発表・講評・全体ふりかえり
- 14:10 ~ 14:40 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

研修ファシリテーターの紹介

第1回 (公財) 箕面市国際交流協会 事務局次長 ^{いわき} 岩城 あすか 氏

大阪外国語大学でトルコ語を学んだ後、トルコ共和国イスタンブール大学(院)に留学、1997年~2001年イスタンブールで過ごす。通訳やマスコミのコーディネーターをしながら、1999年におきた「トルコ北西部地震」の復興支援事業にもボランティアとして関わる。現在は、(公財)箕面市国際交流協会が地域の国際化を促す様々な事業に取り組むほか、重度の身体障害者のみで構成される劇団「態変」の発行する情報誌「イメージ」の編集にも携わっている。2018年度より朝日新聞のWEBオピニオン媒体「論座」執筆者(政治・国際分野)、2019年度より(一財)自治体国際化協会の多文化共生アドバイザー。

第2回 京丹後市国際交流協会 事務局長 ^{あさだ ともこ} 麻田 友子 氏

2008年11月から京丹後市国際交流協会勤務、翌年日本語教室の立ち上げを行う。2012年に多文化共生マネージャーとして認定を受ける((一財)自治体国際化協会)。「京丹後市多文化共生推進プラン」策定時には、第1次(2014年)、第2次(2017年)とも策定委員会の事務局を担当した。2016年4月熊本地震での「災害時多言語支援センター」の活動に参加。現在は本務の他、特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会理事及び京都府地域日本語教育コーディネーターを務める。また、2015年以降、「多文化共生の実践コース」(旧「多文化共生マネージャー養成コース」)の研修講師としてJIAMに出講。

■一般財団法人自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

- ① 地方公共団体に属する職員 研修費(6,500円)を助成
 ※地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっておりますので、ご注意ください。
 - ② 地域国際化協会、市町村(特別区を含む)の国際交流協会に属する職員
 地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組む 研修費(6,500円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成
 NPOまたはNGOで、地方公共団体又は、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員
- ※詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。
 TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。